

[科目名] 特別活動指導法	[単位数] 1 単位	[科目区分]
[担当者] 友田 博文	[オフィス・アワー] 時間: 集中講義 場所:	[授業の方法]
[科目の概要] 特別活動は、生徒各人が様々な集団に所属しながら、そこでの集団活動を通して、自らの個性の伸長を図ったり、実際の社会生活において生きて働く社会性を身に付けつけたりするなど、生徒の人間形成を図る教育活動である。 平成 30 年3月に告示された新しい高等学校学習指導要領における特別活動の改訂の趣旨や特別活動の目標を理解するとともに、特別活動の基本的な性格と教育的意義を理解する。		
[「授業科目群」・他の科目との関連付け]・[なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか] 特別活動は、望ましい集団活動を通して、個人的な資質の育成をはじめ、多様な人間形成を構築する能力・態度、集団や社会の一員としての自覚のもとに所属集団や社会の充実・向上・発展に努める態度、人間としての生き方を探究し、自己を生かす能力や態度などの育成を目指しているものであり、今後高校教員免許を取得し、高校教員として高校生を教育するにあたって最も基礎的・基本的な教職科目である。		
[科目の到達目標(最終目標・中間目標)] ・ 特別活動は、生徒に「生きる力」を育むことを目指した学校全体の教育活動であることを理解できたか。 ・ 望ましい集団活動の展開と望ましい集団育成の理解やスキルを身につけたか。 ・ 特別活動論を通して個人的な資質の育成、社会的な資質の育成の仕方について理解を深めることができたか。 ・ 生徒の自主的、実践的な態度を育成する方法論を探究することができたか。 ・ 人間としての在り方生き方についての自覚と自己を生かす能力の育成方法について理解を深めたか。		
[学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫] 学生の授業評価については、毎回次の講義に生かしている。		

〔教科書〕

高等学校学習指導要領解説「特別活動編」及びオリジナル教材

〔指定図書〕

必要な時に提示

〔参考書〕

必要な時に提示

〔前提科目〕

なし

〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)

- ・ 講義の中で、重要な事項についての課題レポートを書く。
- ・ 内容の詳細については、特別活動の講義開始時に提示される。
- ・ 講義終了時に講義全体についての理解度を測る総合的なテストを実施する。

〔評価の基準及びスケール〕

- ・ 講義中の課題あるいはレポートを評価に加えることがある。
- ・ 配点等は、担当の教員から提示される。

〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕

- ・ 高校の教員免許取得に必要な特別活動論は、高校生の人間形成において極めて重要な科目である。ホームルーム活動や生徒会活動、学校行事などの集団活動を通して社会人になるために必要な資質・能力を身につけるものである。
- ・ 受講する学生は、高校生活における特別活動を振り返り、理論や実践例を学び教職に生かしてほしい。

〔実務経歴〕

授 業 スケ ジ ュ ー ル	
第1回	テーマ(何を学ぶか): 特別活動の目標について 内 容: 特別活動の改訂の趣旨、要点及び特別活動の目標 教科書・指定図書 高等学校学習指導要領解説 特別活動編
第2回	テーマ(何を学ぶか): 特別活動の基本的な性格と教育的な意義について 内 容: 特別活動の教育課程上の位置づけ、特別活動の教育的意義 教科書・指定図書 高等学校学習指導要領解説 特別活動編
第3回	テーマ(何を学ぶか): 特別活動の実践 内 容: グループに分かれて高等学校における特別活動の各活動についてシミュレーションを行い、特別活動の目的・意義の理解を深める。 教科書・指定図書 高等学校学習指導要領解説 特別活動編
第4回	テーマ(何を学ぶか): 各活動・学校行事の目標と内容について その1 内 容: ホームルーム活動、生徒会活動の目標・内容 教科書・指定図書 高等学校学習指導要領解説 特別活動編
第5回	テーマ(何を学ぶか): 各活動・学校行事の目標と内容について その2 内 容: 学校行事の目標・内容、各活動を通したねらい 教科書・指定図書 高等学校学習指導要領解説 特別活動編
第6回	テーマ(何を学ぶか): 指導計画の作成と内容の取り扱いについて 内 容: 特別活動の全体計画、配慮事項、特別活動における評価 教科書・指定図書 高等学校学習指導要領解説 特別活動編
第7回	テーマ(何を学ぶか): 特別活動をめぐる諸問題について 内 容: これからの高等学校教育と特別活動 教科書・指定図書 高等学校学習指導要領解説 特別活動編
試 験	